

infocom

株主のみなさまへ

2015年3月期

2014年4月1日 ⇄ 2015年3月31日



United Innovation



Net Business



インフォコム株式会社
<http://www.infocom.co.jp/>

証券コード：4348

トップメッセージ



売上高は4期連続で過去最高を更新し 当期純利益も過去最高

代表取締役社長 CEO
竹原 教博

2015年3月期の決算は 売上高403億円、営業利益は36億円、経常利益が36億円、当期純利益が21億円で、売上高は4期連続過去最高を更新し、当期純利益も過去最高となりました。主な要因は電子書籍配信サービスが好調に推移したことによるものです。

ITサービス・セグメントでは売上高は第3四半期累計で前年並みとなるものの、第4四半期にSYSCOM社の事業譲渡を実施したことや、病院向け事業の減収が影響し減収となりました。営業利益でも売上の減少や消費税増税の駆け込み需要の反動の影響を取り戻せず減益となりました。

その一方、ネットビジネス・セグメントでは「めっちゃコミック」のテレビCMの実施やポイント制度の導入、サイトのリニューアルなどの施策を実施し、電子書籍配信サービスの売上高の伸長に加えてeコマースの構造改革の効果が発現し増収・増益となり、全体をカバーする結果となりました。

2016年度は中期経営計画の基本方針である“進化”のもと競争力強化と業容拡大に取り組み、成長に向けた投資を継続します。

ネットビジネス事業では「めっちゃコミック」のテレビCMの全国放映^{※1}、街頭ビジョン、JR車内広告などを通

じた情報発信や認知の拡大、タイトル数の充実や他社サイトの連携を推進します。ヘルスケア事業では既存の病院・医療機関向け事業をはじめ、新サービスのヘルスケアIT業界特化型事業創出プログラム「デジタルヘルスコネクト」やアスリート応援サービス「アスリートストーリーズ」のほかIoT^{※2}やビッグデータを使った新しいサービスを展開します。GRANDIT事業では、連携ソフトウェアや開発・販売パートナーを拡充します。

これにより平成28年3月期の通期連結業績見通しは、売上高430億円、営業利益42億円、経常利益42億円、当期純利益26億円と予想しています。

また、株主優待の実施に加え、配当は18.5円から1.5円増配し20円を予想しています。

株主のみなさまにおかれましては今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

※1 一部地域を除く

※2 IoT…世の中に存在するさまざまなモノがインターネットにつながることによって実現される全てのサービスのこと

●2015年3月期連結業績サマリー

売上高	40,309百万円 前期比3.0%増	↑
営業利益	3,606百万円 前期比1.9%減	↓
経常利益	3,692百万円 前期比0.2%増	↑
当期純利益	2,171百万円 前期比6.3%増	↑

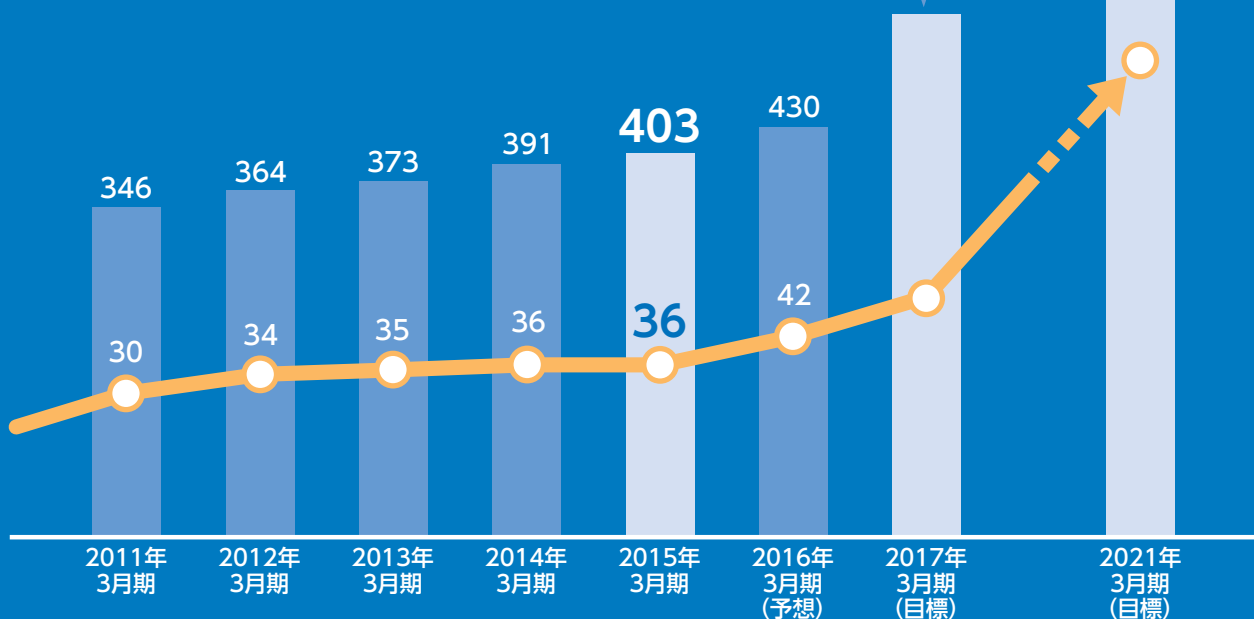
ネットビジネス・セグメント		
売上高	15,337百万円 前期比16.1%増	↑
営業利益	1,207百万円 前期比42.1%増	↑
ITサービス・セグメント		
売上高	24,971百万円 前期比3.7%減	↓
営業利益	2,398百万円 前期比15.0%減	↓

中期経営計画

インフォコムグループは、より存在感のある企業グループへの進化を目指し中期経営計画(2013年3月期～2017年3月期)を推進しています。また、長期目標として2021年3月期に売上高1,000億円レベルの企業規模となることを目指しています。

●売上高・営業利益の推移と目標 (億円)

■売上高 ●営業利益



○基本方針

United Innovation・進化

① 環境変化へのスピーディな対応による"進化"

- ・チャレンジ文化の醸成と新規事業・サービスの創出
- ・市場変化、技術変化へのスピーディな対応

② 重点事業領域の業容拡大に向けた"進化"

- ・ネットビジネス、ヘルスケア領域での成長加速と企業向けITサービスの拡充・変革
- ・M & Aの積極的推進による成長加速

③ "進化"を支える事業基盤の継続的強化

- ・顧客視点、品質視点を重視した業務プロセス革新
- ・事業推進、グローバル視点での人財育成強化

○重点3事業

ネットビジネス事業



ヘルスケア事業



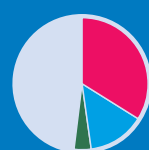
GRANDIT事業



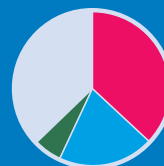
ネットビジネスとヘルスケア、GRANDITの3事業を重点事業と定め、集中的に伸ばすことで、2017年3月期には連結売上高に占めるこれら重点事業の売上高を60%超とする計画です。

●連結売上高に占める重点3事業の割合

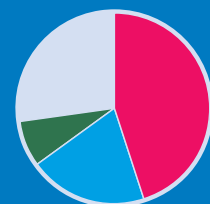
■ネットビジネス □ヘルスケア ■GRANDIT



2013年3月期
373億円



2015年3月期
403億円



2017年3月期(目標)
550億円

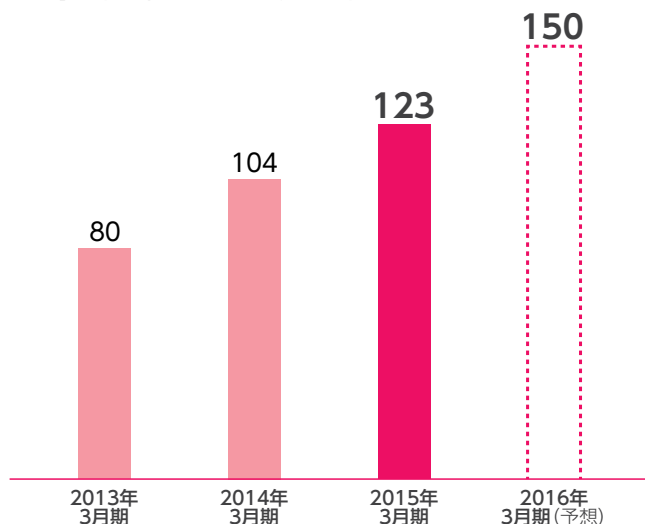
重点事業領域の今後の取り組み



Net Business

電子書籍配信サービスを継続強化し、売上高150億円を目指す

●電子書籍配信サービスの売上高推移 (億円)



電子書籍配信サービスの今後の事業戦略

「めちゃコミック」ブランドの発信・浸透

- 全国主要都市圏でテレビCM放映
- 渋谷、新宿、池袋、3大ターミナル駅前の街頭ビジョンでCM放映
- 山手線、中央線、京浜東北線など7路線の電車内ビジョン広告

一般コミックのタイトル充実

- 2015年4月24日より集英社の人気タイトル取り扱い開始

B2B2C展開による事業拡大

- 集客力のあるSNSやEコマースサイトと連携
「めちゃコミック for GREE」

電子書籍配信サービスの最近の主な動き

当期はコンテンツの拡充や、積極的な広告宣伝による新規顧客層の開拓と会員の稼働率向上に努めました。

- 2014.5 ●テレビCMを開始
- 2014.7 ●テレビCM第2弾を開始
●月間売上高10億円突破
- 2014.9 ●「モーションコミック」の提供を開始
- 2014.10 ●お客様毎におすすめの入荷情報を提供できるようメールマガジン機能を改善
●お客様の声を反映しマイページをリニューアル
- 2014.12 ●会員ポイント制度を導入
●「BRAND OF THE YEAR 2014 消費者を動かしたCM展開」を受賞
●テレビCM第3弾を開始
- 2015.2 ●年間売上高100億円を突破
●グローバル展開を開始
●講談社、小学館のライトノベル販売開始
- 2015.4 ●テレビCM第4弾を開始
●集英社のコミックを提供開始



GRANDIT

連携ソフトウェアと開発販売パートナーの拡充

●GRANDITの現在のパートナー体制

インフラ

ゼネラルパートナー **3社**

提携開発販売パートナー

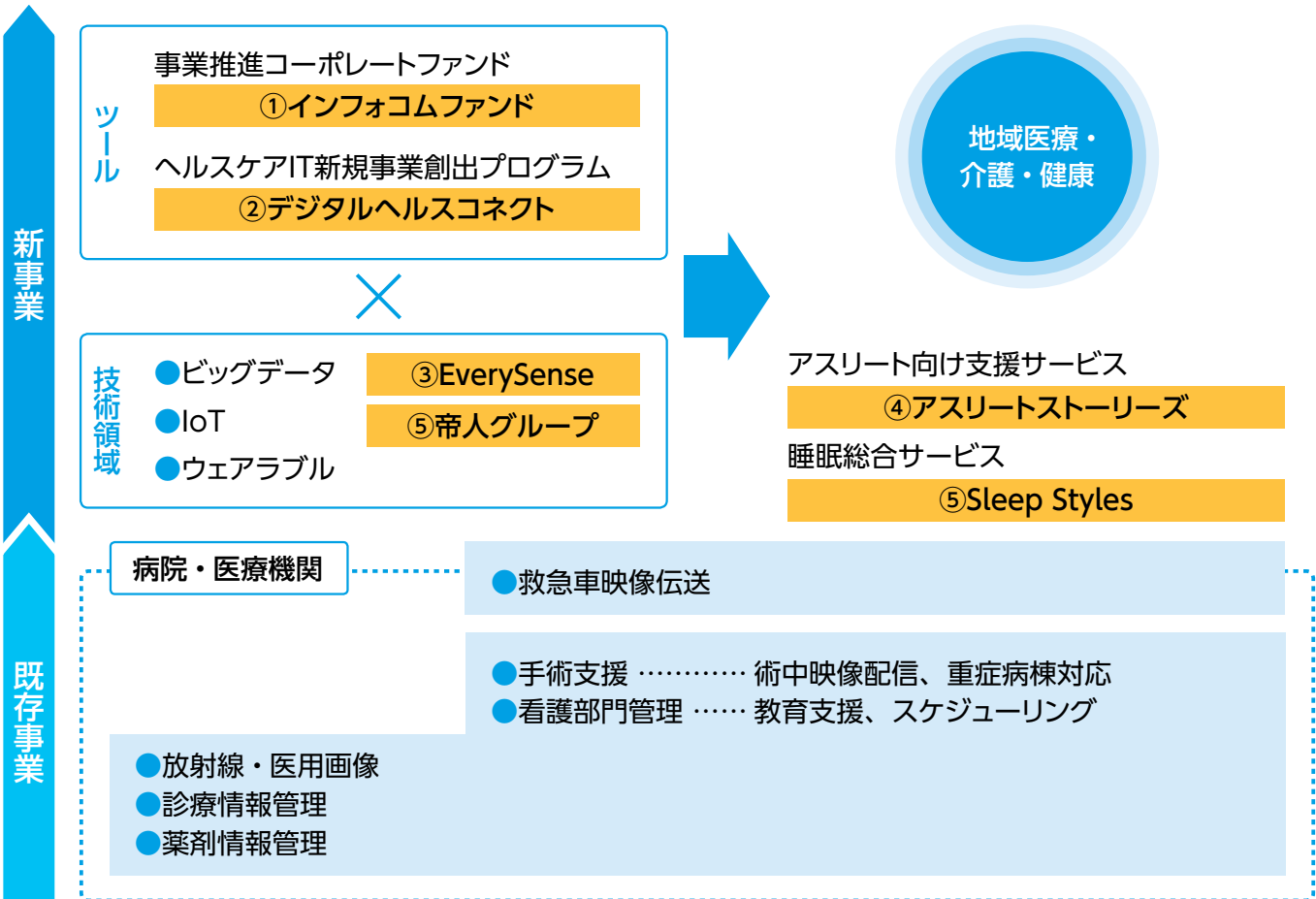
コンソーシアム **14社**
ビジネスパートナー **43社**

提携パッケージソフトウェア

アライアンスパートナー **20社**



既存事業領域(医療IT)から新事業領域(ヘルスケアサービス)へ



①インフォコムファンド

総額20億円のファンドを活用し、米シリコンバレー発で、世界展開が狙える新規事業の探索・発掘と事業領域の活性化を狙います。

②デジタルヘルスコネクト



企業家とヘルスケア業界との出会いの場を提供する日本初のヘルスケアITイノベーションプログラムをスタート。予防医療・高度医療といった業界動向を先導することで、市場ニーズの追求を基にした新ヘルスケアビジネスの創出を図っていきます。

③EverySense Inc.



EverySense Inc.に出資し、IoT*事業へ参入しました。

[事業内容]

- IoT分野における無線ネットワークと電子機器に関する研究開発
- センサーデバイスの研究開発およびセンサーデータ等のビッグデータ解析基盤技術の研究

④アスリートストーリーズ



トップアスリートやプロの選手を目指す若いアスリートをターゲットとしており、選手-指導者間のコミュニティ、練習管理、活動資金援助、就業支援といった現役時代から引退後のセカンドキャリアまでをサポートするスマートフォン向けアプリです。

⑤帝人グループとの連携

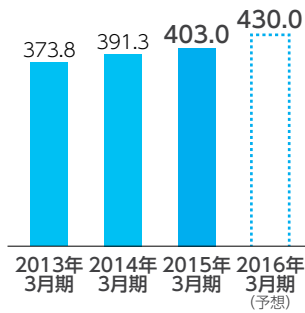


睡眠総合サービス「Sleep Styles」くらしにあった私スタイルへなど、ウェアラブル領域において帝人グループとのシナジーを発揮させていきます。

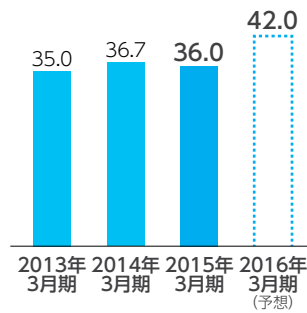
※IoT…世の中に存在するさまざまなモノがインターネットにつながることによって実現される全てのサービスのこと

連結財務ハイライト

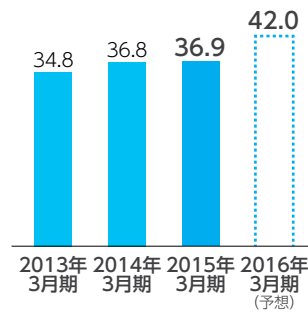
●売上高 (億円)



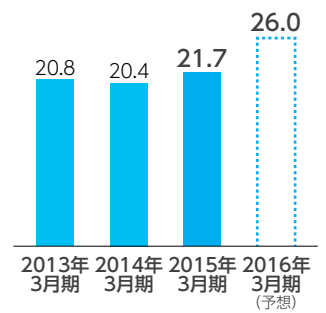
●営業利益 (億円)



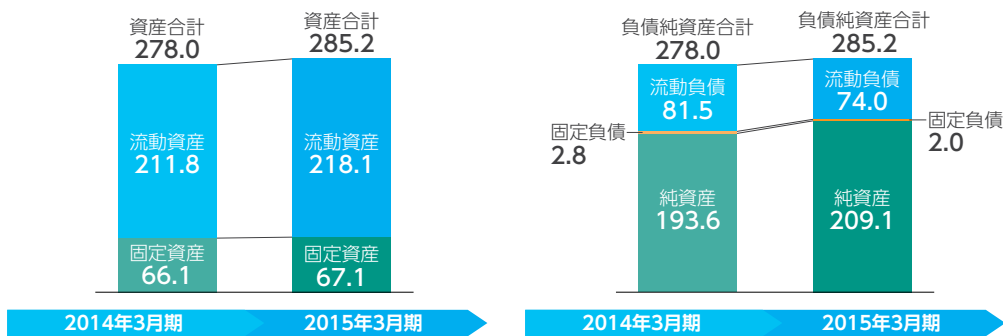
●経常利益 (億円)



●当期純利益 (億円)

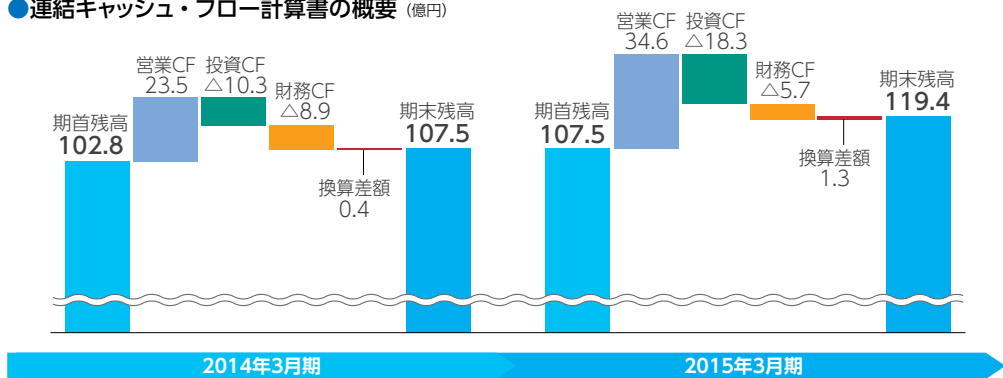


●連結貸借対照表の概要 (億円)



- POINT① 資産合計**
現金及び預金の増加などにより、7.2億円増加し、285.2億円となりました。
- POINT② 自己資本当期純利益率**
純資産が増加したことにより、前期末と比較し、0.2ポイント減の10.9%となりました。

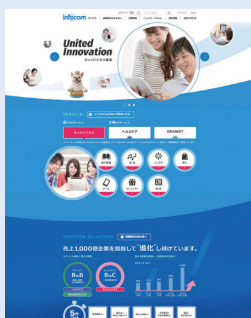
●連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (億円)



- POINT③ 期末残高**
営業活動により獲得した資金34.6億円を、成長に向けた投資に18.3億円、配当金の支払いなど主に株主還元へ5.7億円を使用した結果、連結ベースの現金及び現金同等物は前期末と比較して11.9億円増加しました。

●IRインフォメーション

ホームページとFacebook公式ページのご案内



インフォコムホームページ
<http://www.infocom.co.jp/>



インフォコム Facebook公式ページ
<https://www.facebook.com/InfocomCorporation>

インフォコムグループの情報は、以下のインフォコムホームページよりご提供しています。ぜひご覧ください。

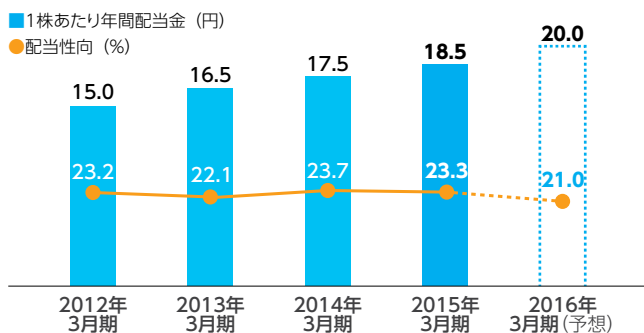
●今後のIRスケジュール (予定)

インフォコムでは迅速かつ正確な情報開示を心がけ、以下予定のほか個人投資家向け会社説明会など、株主・投資家のみなさまに向けたさまざまな活動を行っています。

2015年	
7月末頃	2016年3月期第1四半期決算発表
10月末頃	2016年3月期第2四半期決算発表
11月末頃	次回「株主のみなさまへ」および「株主優待制度のご案内」ご送付

株主還元方針

●1株あたり年間配当金／配当性向



インフォコムグループは、株主価値を高める上で安定的な利益還元を重要な経営課題と考えています。資金需要のバランスを考慮の上、財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当を行う方針です。当期の配当につきましては、1株あたり年間配当金18.5円を第33回定時株主総会にて上程させていただき、ご承認をいただきました。なお、来期の配当につきましては、1株あたり1.5円増の20円を次回定時株主総会にてご提案申し上げる予定です。

※2013年3月期以前の配当金につきましては、株式分割に伴う影響を加味した遡及修正値を使用しています。

●当期の期末配当金のお支払いについて

- 第33期期末配当金の払渡し期間は、平成27年6月16日から平成27年7月31日までとなります。
- 第33期期末配当金は、以下の方法でお受け取りいただけます。

<ゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りの株主様>

同封の「期末配当金受領証」を窓口にご提示のうえお受け取りください。

<口座振込をご指定の株主様>

同封の「期末配当金計算書」および「配当金振込先のご確認について」に記載のとおりお振込みいたしましたので、入金をご確認ください。

○「配当金計算書」について

配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

株主優待制度について

株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、インフォコムグループの事業に対するご理解をより深めていただくことにより、より多くの方々に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入しております。

① 対象となる株主様

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載された当社株式を1単位（100株）以上保有されている株主様を対象といたします。

② 優待の内容

下表に記載の通り、保有株数と保有年数に応じた株主優待ポイント（1ポイント＝1円相当）を贈呈いたします。株主優待ポイントは、『オーガニックサイバーストア』（当社連結子会社である株式会社ドゥマンが運営する食品などの通信販売サイト）でご利用可能なポイントまたはグルメ商品と交換いただけます。

単位：ポイント

保有株数	保有年数	
	3年未満	3年以上
100株以上500株未満	1,000	2,000
500株以上1,000株未満	2,000	4,000
1,000株以上	3,000	6,000

※保有年数は、毎年9月30日を基準に、同一株主番号で継続して株主名簿に記載されている年数です。当社株式をすべて売却したのちに、再度当社株式を購入された場合は、継続保有となりません。

③ 実施時期

①に記載の株主様を対象に、11月中にご案内をお送りいたします。



第33回定時株主総会決議ご通知

当社第33回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

報告事項 第33期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、表記の内容について報告いたしました。

決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件 本件は、原案どおり承認されました。 当期の期末配当は1株当たり18円50銭、配当金の支払開始日は平成27年6月16日でございます。	第4号議案	取締役5名選任の件 本件は、原案どおり承認されました。
第2号議案	定款一部変更(1)の件 本件は、原案どおり承認されました。	第5号議案	監査役2名選任の件 本件は、原案どおり承認されました。
第3号議案	定款一部変更(2)の件 本件は、原案どおり承認されました。	第6号議案	補欠監査役1名選任の件 本件は、原案どおり承認されました。

以上

会社概要・株式状況 (2015年3月末日)

会社概要

商号 インフォコム株式会社
(INFOCOM CORPORATION)
代表者 代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立 1983年2月
本社所在地 東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点 東京都渋谷区、大阪府大阪市、
神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期 3月末日
資本金 15億90百万円
社員数 648名 (単体) 1,171名 (連結)
グループ会社 国内10社、海外3社

株式情報

上場市場 (銘柄コード) 東京証券取引所JASDAQスタンダード (4348)
発行可能株式総数 115,200,000株
発行済株式総数 28,800,000株
株主数 5,046名
事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会：3月末日
期末配当金：3月末日
100株
売買単位
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱場所 東京都江東区東砂七丁目10番11号
0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL：<http://www.infocom.co.jp/>

役員 (2015年6月12日現在)

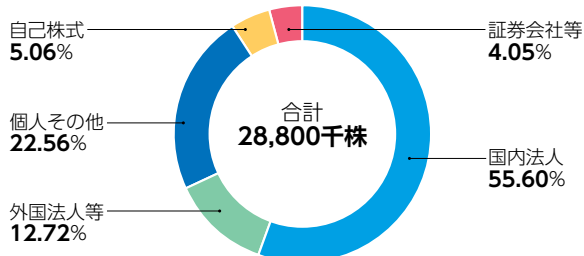
代表取締役社長	竹原 教博	取締役*	津田 和彦
取締役	里見 俊弘	常勤監査役*	池田 一志
取締役	大垣 喜久雄	常勤監査役	玉井 隆
取締役	遠藤 則明	監査役*	谷田部 俊明

※印の役員は社外役員です。

大株主の状況

株主名	持株比率(%)
帝人株式会社	55.13
自己株式	5.06
インフォコムグループ従業員持株会	3.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1.76
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1.61
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	1.56
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	1.45
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	0.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	0.81
BNYM SA/NV FOR BNYM CLIENT ACCOUNT MPCJAPAN	0.81
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	0.76

株式の所有者別状況



お問い合わせ

インフォコム株式会社 広報・IR室
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL：03-6866-3000(代) FAX：03-6866-3900 E-mail：pr@infocom.co.jp

※当資料に記載された予想に関する情報は、2012年2月6日発表の中期経営計画、2015年4月28日発表の平成27年3月期決算短信及び2015年3月期決算説明会資料に基づくものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※当資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標又は出願中の商標です。

※当資料に掲載される情報、記事、写真等の無断複写、転載を禁止します。



この報告書は、適切に管理された森林から生まれたFSC®認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。